

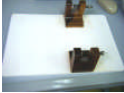
事務改善提案一覧(平成24年度)

～自由提案～

番号	題名	概要	結果	審査会コメント
1	市民課と保険年金課にまたがる窓口の蛍光灯スイッチの改善	<p>1 現状及びその問題点 現状、市民課と保険年金課の窓口カウンターの頭上には蛍光灯が設置されていて、その点灯・消灯のため保険年金課の東側入り口に3つのスイッチがついているが、市民課側にはスイッチがない。つまり、そのスイッチは、二課にまたがっている蛍光灯を点灯、消灯する配線になっている。(蛍光灯は3列になっており、1列ごとに1つのスイッチついている。)よって、水曜日の夜間開庁は市民課のみ行っているのだが、保険年金課の窓口カウンターまで点灯してしまっている。 毎週水曜日の夜間開庁時は電気代の無駄であり、また保険年金課も夜間開庁を行っているように見え、市民の誤解を招く。(トラブルの原因になることもある。)市民課職員が自課の窓口カウンターの点灯・消灯をするのに、わざわざ保険年金課の一番奥のスイッチを操作しなければならないという問題点がある。</p> <p>2 提案の内容 ・既存スイッチの配線を切り換えて、それぞれの課の窓口カウンターのみ点灯・消灯を可能にする。 ・できれば、市民課側にも窓口カウンターの照明用スイッチを新たに設置する。</p> <p>3 提案の効果 ・無駄な電気代がかからなくなる。 ・市民の誤解を招きにくくなり、夜間開庁時のトラブルの予防になる。 ・市民課職員が照明スイッチ操作のために、わざわざ保険年金課の東端まで行かないで済む。</p>	効果あり	<p>窓口カウンターの照明器具をLED化するタイミングに合わせスイッチを細分化することは、無駄な電気代がかからなくなると同時に、来庁者に対して紛らわしい誤解を与えなくなるなど、市民にわかりやすい環境づくりができるとともに、経費削減及び環境負荷軽減において効果が認められると思われる。</p>

事務改善提案一覧(平成24年度)

～事務改善報告～

番号	題名	概要	所属長コメント	結果	審査会コメント
1	ステレオ式脳内血腫吸引術における「山川式固定プレート」の開発と効果	<p>1 現状及びその問題点 脳出血のうち、中等度の血腫量の被殻出血に対して行われるステレオ式血腫吸引術は、全身麻酔を避けたい高齢者にも容易に行いうる優れた術式であるが、手術機器の老朽化により、新しい手術機器、システムの購入、適合する手術台の購入、フィットする固定台の特注等の対策が必要不可欠となっていたが、それぞれが数百万から1千万円と高額な費用を要するため、この術式を断念せざるを得ない状況となった。</p> <p>2 提案の内容 脳神経科科長の依頼により、手術台に乗せられる40×25cmの簡易式の固定プレートを作成した。</p>  <p>【材質】 台：厚手プラスチック ヘッドフレーム固定器具：角材を加工し防水塗料塗布 固定ビス等：ステンレス製</p> <p>3 提案の効果 手術における固定時の患者のトラブルは皆無となり、ヘッドフレームの固定を含む術前セッティング時間の大幅な短縮と共に、安全かつ効果的に同手術を行うことが可能となった。</p>	<p>医療の面から医師の信頼を得ることができたことは、事務部にとって誇らしいことであり、円滑な病院運営に大きく寄与したことは、所属長として大変うれしいこと。また、工夫によって、予想される経費を大幅に削減した。あるべき改善の典型だと言える。</p>	非常に効果あり	機能効果は多大であり、市民サービスの向上及び経費削減に加え、創意工夫も見受けられる。
2	後期高齢者医療保険料の口座振替業務の改善について	<p>1 現状及びその問題点 75歳到達日以降、後期高齢者医療の保険料が発生するが、今まで使用していた国民健康保険税等の口座振替が継続利用できず、市民からの苦情及び徴収コストの増加(臨戸訪問による徴収、督促状の発送等)に繋がっていた。 後期高齢者医療保険料の口座振替については例年8月～翌年3月のみ行っていた(普通徴収の納期日のみ行っていた。)が、それ以外の月は口座振替を行っていなかったため、担当者の事務が煩雑化していた。(口座振替を行わない月は事務手順を変更する必要があったため、煩雑であった。) 特に、2月・3月に被保険者となった方については保険料の支払が4月・5月であるが口座振替を選択することができず、金融機関の窓口での現金納付しか選択できなかった。</p> <p>2 提案の内容 被保険者証送付時に、口座振替登録用紙(郵送登録用)を同封し、口座振替を勧奨した。 対象者は75歳になる高齢者の方であるため、差込印刷を利用して、記入箇所を極力減らすことで口座登録を行いやすい方法を採用した。(平成24年1月に市指定の口座振替依頼書(3枚複写用紙)による口座振替勧奨実験を行ったが、記入箇所が多いため、提出された依頼書の3割近くが記入漏れ・押印漏れ等で返戻となっている。) 金融機関との契約を見直し、保険料の口座振替を通年で行うようにした。</p> <p>3 提案の効果 口座振替を更に推進することで、徴収員の訪問コストや督促状の発送コストを更に削減することが可能であると見込まれる。悪質滞納者等への対応に要する時間を確保できると考える。 口座振替を通年でできるようになったため、すべての被保険者が保険料の支払を初回から口座振替で支払えるようになり、被保険者の利便性が向上した。また、保険料納付書の発行処理手順が年間で統一されたため、担当職員の事務負担の軽減に繋がった。</p>	<p>75歳到達により今までの医療保険から後期高齢者医療保険となり、新たに手続きが必要となる中、納税に関する被保険者の利便性が大幅に向上し、事務処理の簡素化が図られると共に、被保険者にもわかりやすい対応が出来るようになった。</p>	かなり効果あり	被保険者の利便性向上に大きく貢献しており、事務手続きの改善、市民サービスの向上及び経費削減において、効果が認められる。

3	教育用コンピュータの整備時期の調整について	<p>1 現状及びその問題点 教育用コンピュータ整備事業は、児童生徒の教育用コンピュータと教師用コンピュータ、周辺機器およびソフトウェアをリース契約(5年)で導入整備し、リースアウト後は、更新整備しています。しかし合併前から事業を行っていることから、富士宮地域と芝川地域では導入(更新)時期が異なっており、さらに芝川地域では教師用コンピュータと教育用コンピュータの間でも更新時期が異なっています。</p> <p>このため市内小中学校のコンピュータの機種やソフトウェアは、学校により異なることがあり教育的環境として望ましくありません。維持管理及び事務処理面でも合理的とは言えない状況です。教育機器の効果的活用を研究する教育機器研究委員会から、教育用コンピュータの更新時期の統合を要望された経緯もあります。</p> <p>2 提案の内容 平成25年度以降の更新時期統合のため、教育用コンピュータの整備計画を立案しました。安定した機器保守を維持しつつ更新時期を延長調整することで統合するものです。</p> <p>第一段階 芝川地域の中学校では、中学校の教育用コンピュータのなかでも更新時期が異なるもの(リース終了平成24年12月31日、平成25年1月31日)があり、これを平成24年2月1日から統合する。</p> <p>第二段階 芝川地域の小学校では、児童用の教育用コンピュータの更新時期(リース終了、平成27年8月31日)と教師用のコンピュータ更新時期(リース終了、平成25年6月30日)が異なるため、教師用のコンピュータの平成25年度の更新を見送り、平成25年7月31日から平成27年8月31日の間保守委託のみで、更新時期を延長した。この間平成26年度には、PCの部品供給が終了するので、平成24年度に入れ替えを行う中学校のPCを確保して対応する。</p> <p>第三段階 芝川町の更新時期を統一し、旧富士宮地域のコンピュータの更新を統合することを計画した</p> <p>3 提案の効果 1 芝川地域の中学校の更新時期を合わせることで、契約の事務が一本になり簡素化する。 2 芝川地域の小学校の教師用コンピュータの平成25年度の更新時期を延長することで、契約の事務の簡素化とOSの同期を図る。 3 小学校と中学校の芝川地域と富士宮地域の更新時期を合わせることで、スケールメリットと契約事務の軽減が図れる。また、小学校、中学校が同じコンピュータ環境で児童・生徒が学ぶことができる。 4 リース会社から無償譲渡を受けた教育用コンピュータを、保守契約で使用を延長することは、コンピュータの部品供給が終了してしまう制限があるため、最長1年程度ではあるが、その間リース料の支払いが節約できる。</p>	小学校、中学校のコンピュータの更新時期が富士宮地域の小中学校、芝川地域の小中学校で異なっている現状を、更新のタイミングを調整することにより小学校、中学校の環境を同じにすることは、富士宮市の児童生徒が同じコンピュータ環境で学習することを確保することは、現場からも望まれており必要なことです。	効果あり	時期調整は当たり前と言えば当たり前だが、意識をもって仕事をしていくことは大切なことであり、経費削減及び環境負荷軽減において効果が認められると思われる。
4	法務ルームの実施について	<p>1 現状及びその問題点 行政課文書法規係では、職員からさまざまな法的相談を受けている。その相談内容の中には、法律上の根拠が曖昧のまま実務が行われていることによる問題も幾つかある。また、法令上は例外的な対応による実務(随意契約等)が、日常多く行われているが、それが例外的なものであることの認識があまりないように見受けられることもある。地域主権が進められる中、これから、ますます職員の法的思考力アップが求められ、政策法務能力を向上していかなければならない。多くの職員も、日々忙しい中にも、改めて法的勉強をしたいという雰囲気も感じられる中、文書法規係自身のスキルアップも兼ね、全庁的なOJT(職場内研修)が必要だと感じた。</p> <p>2 提案の内容 実務と法律との関係を、職員一人ひとりが改めて確認をし、これをきっかけに改めて法的思考能力を高めるための動機付けの勉強会を開催した。</p> <p>勉強会名 法務ルーム(この名称は、研修会のイメージではなく、お互いで確認しあう勉強会としたいため「学校で行われるホームルーム」からヒントを得たもの)</p> <p>内容 1クール4回を3回実施した。</p> <p>第1回:文書起草 第2回:組織・議会 第3回:財務 第4回:契約</p> <p>内容は、実務がどのような法令の、どの条文が根拠となっているかを確認するために、地方自治法の条文、市の条例又は規則の条文を個々に確認をした。</p> <p>参加者 第1クールから第4クールまでの延べ参加者 延べ494人 今後 法務ルームの特別編を予定している。内容としては、「要綱・条例改正」などの際の法制執務上の改正技術演習、また関係課の協力が得られれば、都市計画や建築など、多くの職員が、行政に携わる上で、知識として知っていたほうが良いと思われる法律の概要をテーマとして勉強会を開催したい。</p> <p>3 提案の効果 日常の実務が、どの法律に根拠があり、条文がどのように規定されているかを確認することによって、その実務の「原則」を確認し、さらに実務上の例外は、どのような規定(法律の施行令など)により、どのような場合(ケース)に許されているのかを、改めて確認する場となったと思われる。</p> <p>法務ルーム終了後、現在の実務における疑問点等の照会も何件もあり、また1クール終了後のアンケートにおいても、今後も継続してほしいなどの職員の積極的な姿勢による声も多くあった。</p>	日常業務について、法的視点で再度見直すことができる良い機会であり、職員でこのような内部研修ができていくことが、何より素晴らしいことだと感じている。市職員全体の政策法務力アップを期待している。	非常に効果あり	行政組織の知識の底上げを期待できるものであり、大きな効果が認められる。今後も、分野を広域に広げ、継続的な実施を期待する。

5	窓付き封筒の割引の適用について	<p>1 現状及びその問題点 現在、郵便物料金の削減のため、各課の郵便物をまとめ、それにより100通を超えた場合は割引適用を受けている。 しかし、毎日数多く出されている「窓付きの封筒」については、サイズが違うものであったり、封筒の色が違っていたり、また窓の大きさが違う等から、数をまとめても割引の対象にならないということであった。実際に、郵便会社のホームページを確認してみると、この窓付き封筒の割引については、具体的に示されていないのが実情であった。</p> <p>2 提案の内容 郵便会社の郵便割引制度は、多岐に及んでおり、また制度運用も変更されている様子が見受けられる。 そこで、市で発送されている窓付き封筒で、大きさの違うもの、封筒の色の違うもの、窓の大きさの違うものなどを、発送数が比較的多めである庁内外8課から30種類程集め、それらを直接、郵政会社の集荷担当者に示し、確認をしたところ、同じ重量内での窓付き封筒ならば、封筒の大きさ、封筒の色、窓の位置に関わらず、一定量まとまれば割引対象となる確認をとることができた。 郵便料金については、日頃から割引制度を利用することにより、コスト減を心がけていたところであるが、今回、割引制度の運用の部分まで確認することによって、郵便コスト減につなげることができる。</p> <p>3 提案の効果 平成24年度上半期の実績からみて、1か月で30,000円程度、年間で360,000円程度の郵便料の節約になるとと思われる。</p>	<p>従事する事務について、客観的に問題意識を持って見つめ直すことで事務改善が進むことがある。まさにその事例であり、事務内容を整理することで既存の制度適用を受け、経費削減に結びつけることができた。新しいアイデアも、このような取り組みから生まれてくるものであり、熟知し、俯瞰し、そこで考えることの大切さを感じたものである。 今後も、より良い事務のあり方について、常に意識付けをして頑張ってもらいたいと考えています。</p>	効果あり	改めて業務を見直し確認を行うことから効果が図られたものであり、経費削減において効果が認められると思われる。
6	内示書の作成について	<p>1 現状及びその問題点 年度末の職員配置換に伴い、内示書を作成しているが、従来は紙ベースで300部(一部あたり30枚程度)作成しており、その印刷及び製本作業に3人で半日程度費やしていた。</p> <p>2 提案の内容 一人一台パソコン未導入部署等についてのみ従来どおり紙ベースでの内示書を配布し、それ以外については内示書を統合OAの掲示板にPDFファイルで掲載し、閲覧することとした。</p> <p>3 提案の効果 従来、会議室内に印刷機を持ち込み、印刷を行っていたが、紙ベースでの内示書の作成数が300部から100部へと200部減となったことから、印刷室での短時間の作業で終えることができ、また、減冊分の印刷代、紙代(約6,000枚分)及び作業にかかる人件費が削減された。 PDFファイルで掲示板に掲載することにより、掲示板の有効利用が図られ、また、氏名や部署等の検索が可能となった。</p>	<p>印刷代、紙代、作業時間などのコスト削減はもちろんのこと、内示書印刷という作業の特性上(機密性・秘匿性)から発生するロス紙の適正な廃棄など、短期集中作業におけるストレスも軽減されると思われる。</p>	効果あり	統合OA掲示板での内示書(PDFファイル)の掲載は、一言アクセスも可能とした誰もが閲覧できる環境を作り出してあり、事務手続きの改善、経費削減及び環境負荷軽減において効果が認められると思われる。
7	職員向け辞令書印の電子押印化について	<p>1 現状及びその問題点 現在、任命権者が発令する辞令書を作成するには、辞令書を打ち出し、辞令書に辞令印を押印した後、乾かすという作業を行っている。 正規職員分として毎年300～400枚の辞令書を作成しており、臨時職員・嘱託員分としては年間1,300枚を作成している。 押印及び乾かす作業に一枚あたり30秒費やすとして、この作業を一人の職員が行った場合、年間約14時間費やしている。</p> <p>2 提案の内容 職員向けの任命権者の辞令書印を電子押印とする。</p> <p>3 提案の効果 印刷代は、一枚あたり白黒1.8円、カラー7.2円であるため、一枚あたり5.4円増額となり、現在より総額で5.4円×1,700枚=9,180円印刷代が増額となるが、作業に要する人件費は、職員一人あたりの時間単価(普通会計)2,189円×14時間=30,646円削減となる。 また、辞令書の作成は、毎年繁忙期に集中するため、時間外勤務となることが多いことから、これにより時間外勤務削減となり、健康面において効果が期待されるほか、照明器具の使用時間の短縮等、環境面においても効果が見込まれる。</p>	<p>時間外勤務削減というコスト削減はもちろんのこと、職員の健康面での効果や、繁忙期における会議室の占有時間も大幅に短縮されると思われる。</p>	効果あり	事務改善手続き及び経費削減において効果が認められると思われる。 教育委員会への普及も対応されたい。
健康長寿の知育袋		<p>1 現状及びその問題点 健康増進課では、健康増進・介護予防を目的に健康教育・健康相談等の事業を各地区で実施しており、こうした事業の現場では、指導者が各地区へ訪問し指導しているときは、健康増進・介護予防に資する活動が実践できているが、指導者不在のときにはその活動ができておらず、継続的な活動ができるような支援が課題となっている。</p> <p>2 提案の内容 過去の健康教育・健康相談等において住民の健康増進・介護予防に必要と思われる内容(運動・口腔ケア・栄養)について独自の健康教育用ビデオ媒体を作成し、区民館・公会堂等で活動する地域の団体に配布し活用している。</p>	<p>市民の健康増進・介護予防は、今や富士宮市の主要課題となっている。 今回のDVD作成・配布は、医師などの専門家と協力しながら、課題解決のために市民に直接働きかける</p>	かな	委託によるDVD制作を委託し、親みのわくプロジェクト

8	<p>健康増進科 (健康教育用ビデオ媒体)の作成</p>	<p>3 提案の効果 (1)健康増進・介護予防の指導者が不在の際でも、DVDを見ながら、これらの活動が継続されるようになった。現在、地域の40団体が活用しており、今後も配布に努め、希望する団体も含め、少なくとも100か所(団体)に配布予定。 (2)富士宮市医師会・富士宮市歯科医師会・筋トレ応援隊(ボランティア団体)とコラボレーションすることで、健康増進・介護予防の必要性について意識の共有が図れた。 (3)地域寄り合い処等からの配布希望も多く、地域のニーズと合致した物が提供できた。 (4)市ホームページ動画サイトに掲載することで、多くの人に閲覧可能な環境(ユーチューブ利用)となった(パソコン・スマートフォンからも閲覧可能になり、ネット社会に合致した情報提供が可能)。 (5)ビデオ制作会社に依頼せずに作成できたので、委託料なしで済みました。見積は行っていないが、30万円程度の費用を削減できたと思う。</p>	<p>市民に直接届くというツールを提供したものである。 また、経費削減に努めつつ、手作り感を残しながら、工夫を凝らして親しみやすく作られており、高く評価したい。</p>	<p>効果あり</p>	<p>委託によるコストを削減し、市民サービスの向上において、効果が認められる。</p>
---	----------------------------------	--	---	-------------	---